

# 西部地域支え合い 協議会だより



令和5年3月1日発行  
発行 西部地域支え合い協議会  
発行責任者 小川 光昭  
鶴ヶ島市西市民センター1階  
☎・fax 049-214-4005  
受付時間：水・金の10時～12時

## 地域会議で出た課題について

西部地域支え合い協議会会長 小川光昭  
西市民センター所長 安野修司

西部地域支え合い協議会と西市民センターでは、この地域をより良くしていくために、地域の課題を地域で解決できればと考えており、昨年12月10日に地域の課題を抽出するため第1回地域会議を開催しました。この会議で出た課題は下記のとおりです。

また、この課題の解決方法等について3月18日に第2回地域会議を開催する予定です。何か良い解決方法等ありましたら西部地域支え合い協議会又は西市民センターまでご意見をいただけると助かります。

参加者：自治会長、PTA 会長、西中学校校長、地域包括支援センターかんえつ、社会福祉協議会  
第四地区青少年健全育成推進協議会、西部地域支え合い協議会、西市民センター

### 自治会の運営の問題

- ・高齢化により、役員や班長のなり手がいない傾向にある。
- ・高齢のため迷惑をかけるから自治会を退会したという人が増えてきている。
- ・エリアにより世代の格差がある。
- ・自治会を維持するためにどのように若い世代に引き継いでいくか。
- ・自治会加入率が低下傾向にある。

### コロナと地域コミュニティ

- ・地域コミュニティを深めるためにどのような取組を行っていったらいいのか。
- ・コロナ禍で自治会やPTA など集まる機会が少なくコミュニケーションの場がない。
- ・PTA 会長や役員のなり手がいない。

### 地域防犯・安全、マナー

- ・新町中央広場の雑草の処理、管理が出来ていない。
- ・夜間にライトをつけていない自転車や犬の糞の未処理、空き缶の投げ捨てなどモラルを守らない人が増えている。
- ・限られた地域の中でゴミ集積所の設置場所を探すのがとても大変である。
- ・道路(通学路)が非常に暗く、足元が見えにくく危険である。
- ・神明神社から共栄一本松線に突き当たるところには縁石がなく交通量も多いため、通学することも達が危険である。

### 小学生

- ・学校帰りに買い食いをしている子を見かけることがある。
- ・夕焼け放送が流れていても帰らない子供たちが多い。
- ・大人の目の届かない所でのトラブルが多い。

### 西部地域支え合い協議会

- ・草むしりや植木の剪定、買い物の補助、病院の付き添いなどを行っているが、様々な要望に応えるために協力体制の整備が必要。
- ・自治会と同じく、高齢化や体調不良等により人が減ってしまっている。



## 日頃お世話になっているゴミ収集

高倉クリーンセンターが移転後 埼玉西部クリーンセンターにいくつか質問してみました

回答 埼玉西部環境保全組合

ご存知の方も多いことと存じますが、昨年12月 清掃センターが移転しました。そこで、この機会に清掃センターの方にいくつか、質問にお答えしていただきましたこと、お伝えしたいと思います。

1 高倉クリーンセンターから埼玉西部クリーンセンターへの移転に伴い、大きく変更となった点がありますか？

回答 大きく変わった点は、処理方法、処理能力、運転体制、発電設備の新設等があります。処理方法は、流動床炉から回転式ストーカ炉になりました。処理能力は、270 t/日から130 t/日になりました。運転体制は、月曜日から金曜日までの1日24時間運転から1日24時間運転（土日も含む）になりました。発電設備を新設し、余熱を利用し発電しています。また、埼玉西部クリーンセンターでは、より高度な排ガス処理設備を導入することで環境対策が強化されました。

2 埼玉西部クリーンセンターでは、ごみの焼却によって、1日当たりどれぐらいの電力が得られますか？

回答 ごみの焼却によって得られる電力は、1日に最大で58,080 kWhとなります。  
※埼玉西部クリーンセンターの発電能力は、1時間当たり2,420 kWとなります。

3 高倉クリーンセンターに1日に延べ何回位、収集車が運搬して来ますか？（平均）

また、1日に何トンぐらいのゴミが運ばれてきますか？（令和4年度の最高、最低、平均など）

回答 令和4年度（4月から11月まで）に高倉クリーンセンターに搬入した収集車は、1日平均72台です。  
高倉クリーンセンターに搬入されたごみ量の平均は、1日平均125.47 tです。  
令和4年度にごみ搬入量が最も多かった日は、令和4年5月3日の189.05 tです。  
ごみ搬入量が最も少なかった日は、6月1日の28.59 tです。

4 ゴミの多い月や少ない月、曜日など、日々の違いがあったら教えてください。

回答 ゴミの多い月や少ない月は、引越等が多く、大型連休がある5月が比較のごみ量が多く、年末年始のごみ量が増加した後の1月中旬から2月までは、比較のごみ量が少なくなります。  
曜日など日々の違いは、土曜日、日曜日、祝日等の休日があると、次の収集日に比較のごみ量が多くなります。

5 住民の皆様にお伝えしたいこと

回答 電池やライター等の発火する可能性のあるものは、分別方法を誤ると火災等の重大な事故につながる危険性があります。毎年発行している「ごみと資源の分け方・出し方」に注意点を載せていますので、よく確認していただきたいです。  
どうか、これからもごみの分別にご協力ください。



埼玉西部クリーンセンター

ありがとう券支援店紹介：今回は新町3丁目のイタリア料理を楽しませてくれる1店をご紹介します

## 旬彩ぷらんたん

リーズナブルで美味しい洋食屋をコンセプトにくつろげる空間を目指して皆様のおかげで19年目になりました。感謝しております。

人気のサラダのドレッシングやソースにこだわりを持ちながら野菜をふんだんに取り入れております。日替わりランチメニューを中心にロールキャベツなど多数、ディナーは肉魚料理、パスタ、ピザなどバリエーションを多数取り揃えております。

これからも皆様に愛されるようなお店を目指して頑張ります。

どうか、今後ともよろしく願いいたします。

🏠 新町3丁目12-4  
☎ 049-271-8288

(営業日、時間 11:30~15:00 17:30~23:00  
月曜日は休業となります(月曜日祝日の時は翌日休業。))



人気のロールキャベツ

ご利用者様から、原稿を頂戴いたしました。

お名前も、匿名でなくてもいいよ、と優しいお言葉を頂戴いたしました。

お声をかけていただかないと、お困りのことが私どもにはなかなか伝わりません。

こちらの松本様はよく事務所において下さいます。原稿をいただいたことにも感謝いたします。

中新田 松本洋一

鉢植えのシャコバサボテンの茎の先に、赤鉛筆の先のような花芽がつくようになりました。

赤とピンクの山茶花も、咲きだしてきました。

小さな庭には、花の咲く木があり、四季の自然と共に、季節の移り変わりを楽しんでます。

西部地域支え合いの皆様には、1年を通して、庭の草取りと植木の剪定で大変お世話になり、高齢のため頼るところもなく、ありがたく感謝しております。

これからも鶴ヶ島地域のため、格別のご支援ご尽力を願う今日この頃です。



ありがとう券取扱い支援店更新のお知らせ (1月に更新されました) 下記の20店舗になります

- ① 手作り惣菜弁当の店やまぼうし
- ② クリーニングオークWEST
- ③ 暖暖亭
- ④ 飲み処 仁
- ⑤ 筋圧堂整骨院
- ⑥ おむすび えびね
- ⑦ なごみ鍼灸整体院
- ⑧ みずむら美容室
- ⑨ 十一屋田口商店
- ⑩ 手打ち蕎麦切り 吾一
- ⑪ 三進硝子店
- ⑫ ガレージワテック
- ⑬ 麺屋信玄
- ⑭ 旬彩ぷらんたん
- ⑮ Noel hair
- ⑯ ビューティサロン ナチュレ
- ⑰ 福祉喫茶「よつば」
- ⑱ Café ルヴェ
- ⑳ 大勝接骨院
- ㉑ こすもす

お困りのことにお手伝いできることがあるかもしれません。

読者の皆様も、西市民センター内の事務所(049-214-4005・水・金の10時~12時)までお声がけください。料金は所要時間の設定で、1時間につきありがとう券3枚(600円分)を頂いています。



## 西部地域の歴史散策

### 高倉高福寺不動明王画像とは

高倉高福寺跡の不動堂には古来より不動明王の掛け軸が秘蔵されていた。

これは、縦二尺五寸（約七十六センチメートル）、横一尺二寸（約三十八センチメートル）で、台紙の和紙に絹布が張られており、その上に金泥や顔料で「右脇に制多迦童子、左脇に矜羯羅童子を従え、紅蓮の炎を背にした不動明王像」が描かれている。

かなり傷みは進んでいるが、古色蒼然とし、一見してその年代の古さを感じさせる逸品である。

かつて高福寺は不慮の災いに遭い、享保五年（一七二〇）に再建され、後年廃寺となり、その古材で不動堂が建設された。その不動堂の茅葺き屋根の天井裏に、黒くなった桐の箱に入れられて、この不動明王の掛け軸は保存されていたということである。

この不動明王の開軸は長く禁忌（タブー）とされ、「不動を見ると目がつぶれる」などと伝えられてきたため、めったに開軸する機会もなく、そのまま保存されてきた。

この掛け軸の製作年代は鎌倉時代にまでさかのぼり、部分的には平安時代の技法も感じとれる。県内でも最も古いものの一つで、作品としても極めて価値の高いものである。

なお、この画像は昭和五十九年九月、当時町教育委員会が高福寺の巻物を調査した時に発見したもので、画像の傷みがたいへんひどかったために専門家の手によって修理し額装にして保存している。

（鶴ヶ島市教育委員会掲示より）



高福寺地蔵尊



地蔵尊と板石塔婆



高福寺不動明王画像

## 伝え聞く歴史探訪

### お月見ドロボーという日本的ハロウィーン

こんな風習が存在していたことをご存知でしょうか？

もう60年ほど前の話ですが、当時高倉地区は上・中・下の3地区に分かれていて、その中地区に幼い頃の自分と近所の数人が十五夜の夜、黒装束に身を包み、お供えしているお団子をこっそり盗むという・・・今では考えにくい悪いイタズラではあるのですが、当時は、お供えしたお団子が減ってしまうことを縁起の良いこととの風習が実在していました。

そこで、この地区だけのことかと、調べて見ましたら、全国各地に『お月見泥棒』の風習が存在していることを見つけました。少しずつ地域によって違いはあるものの、子どもは月からの使いとみなされ、盗まれた家でも『お供え物が全部なくなる方が縁起がよい』、『盗られた家は豊作になる』など、むしろ喜んでいましたようです。子どもたちにとっても『盗った団子を食えると健康でいられる』、『供えられた豆腐を食えるとお腹が痛くならない』などとする地域もあったようです。現在もまだ全国各地で『お月見泥棒』の風習が残っている地域があるようです。どこかハロウィーンの風習とも似通っている部分がありますね。

当時のイタズラっこ代表 荒田昇 参考資料 ウェザーニューズ